

演題名：便潜血自動分析装置「ヘモテクト NS-Plus」と「ヘモテクト NS-Prime」の比較検討

演者： 五十嵐 郁子

共同演者： 横田 綾子、木村 理恵、杉野 哲也

所属： 株式会社 近畿予防医学研究所

本文：

【はじめに】大腸癌早期発見に欠かせない便潜血検査として下部消化管からの出血を特異的かつ高感度に検出可能な免疫学的便潜血検査がスクリーニングテストとして広く普及している。今回我々はアルフレッサファーマ株式会社より発売されている免疫学的便潜血自動分析装置「ヘモテクト NS-Plus」と「ヘモテクト NS-Prime」での便中ヒトヘモグロビンについて検討する機会を得たので報告する。

【方法】弊社に便潜血検査の依頼があった人間ドック患者検体（ $n=516$ ）を検討用に使用した。検討装置はアルフレッサファーマ社製の「ヘモテクト NS-Plus」と「ヘモテクト NS-Prime」を使用し患者検体のヒトヘモグロビンを測定、両装置のカットオフ値 100ng/mL で陽性率を比較した。またカットオフ値を変えた時の陽性率の変化についても合わせて比較してみた。測定原理は両装置とも金コロイド凝集法。測定試薬は「NS-Plus」：ネスコートヘモ Plus、「NS-Prime」：ネスコート Hb オートをそれぞれ使用した。

【結果】カットオフ値 100ng/mL の陽性率は、「ヘモテクト

NS-Plus」では 3.88%、「ヘモテクト NS-Prime」では 4.46%であった。この時の一致率は 99.4%となり、良好な結果となった。またカットオフ値を 80ng/mL と変えた場合の陽性率は「ヘモテクト NS-Plus」では 5.62%、「ヘモテクト NS-Prime」では 4.84%となり、一致率は 99.2%であった。また同様にカットオフ値 120ng/mL の場合の陽性率は「ヘモテクト NS-Plus」では 3.10%、「ヘモテクト NS-Prime」では 3.88%となり、一致率は 99.2%であった。

【まとめ】今回我々が行った、「ヘモテクト NS-Plus」と「ヘモテクト NS-Prime」の装置間での便中ヒトヘモグロビンについての検討では、一致率 99.4%で相関係数 $r=0.960$ と良好な相関結果が得られた。その他の検討結果も含め報告する。